

チュートリアル課題 あざのできた右田さん

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29125

2008 年度 Block. 5

課 題 No. 2

課題名：あざのできた右田さん



複製・転載すると著作権侵害となる場合がありますのでご注意ください。

課題シート

2008-B5-2

シート1

あざのできた右田さん

右田和夫さんは45歳の男性である。生来健康であったが、最近だるさを感じるようになり、3日前に両下腿に小さな赤いあざが出ているのに気づき、増加したため近くの皮膚科を受診した。

提示資料

課題シート

2008-B5-2

シート2

あざのできた右田さん

赤いあざは点状出血であった。血液検査で血小板減少が認められたため、血液内科を受診するよう勧められ来院した。受診時、初めより大きなあざがでるようになってきていることに気づいた。

課題シート

2008-B5-2

シート3

あざのできた右田さん

初診時 体温 38.5℃、呼吸数22/分、脈拍 86/分 整、血圧136/72 mmHgで四肢、体幹部に点状出血と斑状出血が認められた。血液検査を施行され、血液疾患が疑われたため緊急入院となった。

課題シート

2008-B5-2

シート4

あざのできた右田さん

入院後ただちに施行された骨髄検査では異常細胞が85%を占めていた。発熱を認め、感染症の疑いで点滴が開始された。

課題シート

2008-B5-2

シート5

あざのできた右田さん

点滴開始後翌日には解熱した。受持医から診断や治療方針について文書で説明を受けた。治療が開始され血液中の異常細胞は減少したが、吐き気や脱毛などが出現した。また骨髄液の染色体検査で染色体異常があったことがわかった。インターネットでの検索で、経過によっては移植の適応となることがわかった。